

日本自動車連盟（JAF）では、信号機のない横断歩道で歩行者がいる場合に一時停止しない車が多いという実態を把握すべく、2016年から全国で実態調査を行っています。

この度公表された今年の調査結果によれば、歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場面で一時停止した車は全国で30.6%でした。

前年からは9.3ポイントの向上となりましたが、まだ約7割のクルマは法令を遵守していないこととなります（※）。

※道路交通法第38条では「横断歩道等における歩行者等の優先」が規定され、横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合には一時停止をし、その進行を妨げてはいけないことになっています。

当調査結果の特徴として、都道府県ごとの差異が非常に大きいことが挙げられます。

トップは長野県の85.2%で、それに次ぐのが63.8%の静岡県。

残念ながら最下位は岡山県で10.3%です。

因みに前年の最下位は宮城県（5.7%）でしたが、今年は全国4位の51.4%となりました。

宮城県警では啓発活動に注力したようですが、全国で当比率アップへの取組が拡大・加速することに期待します。

さて、読者のみなさんに所縁のある都道府県の状況は如何でしょうか。

当調査結果の発表内容は、以下URLよりご覧になれます。

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/library/survey-report/2021-crosswalk>

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

---

▼"ツイッター"を始めました。

<https://twitter.com/jidousyakyouiku>

▼本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、以下よりお願いします。

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/xf.php?id=149239601>